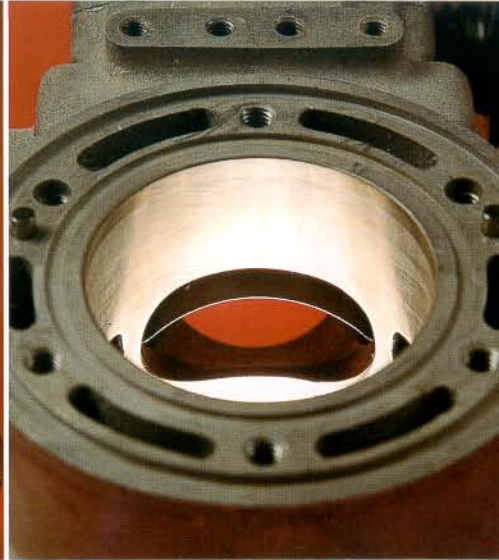


TZR250R

SP version

YAMAHA



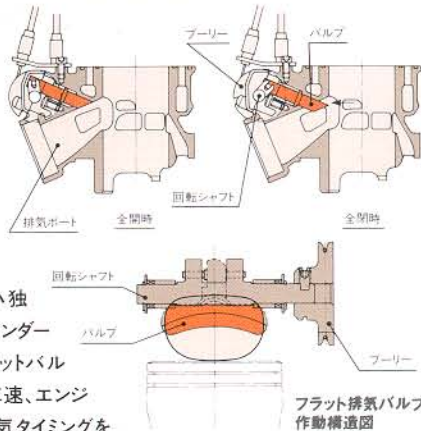
幾つもの勝利のコーナーを抜けて、さらに磨かれたウイニング・スペック。 '94TZR250R SPバージョン誕生。

クラス最軽量の乾燥重量と高次元のコントロールビリティを武器に、レーシーかつコンペティティブなパワー特性がSPファイター達を震撼し続ける、YAMAHA TZR250R SP VERSION。幾多もの勝利のなかで鍛え抜かれたテクノロジーに、鮮烈なストロボブラッシュパターンのニューカラーをまわって、'94バージョンが最前線に躍り出る。新たに排気ポート、吸気系、リアサスペンションなどをモディファイ。常に頂点の走りを目指す、そのウイニング・スペックに妥協はない。走れば走るほど研ぎすまされていくレーシング・パフォーマンス。ふたたび'94フロントローへ。

**戦闘的な高速性能に
磨きかけた、**

フラットタイプYPVS

TZ250から移植されたヤマハ独自のフラットタイプYPVS。シリンダーの排気ポート部に板状のフラットバルブを採用し、スロットル開度、車速、エンジン回転数に応じて、最適な排気タイミングを保ち、燃焼効率を大幅に向上させている。'94年では新たに排気ポートの形状をリファイン。ピークパワー付近の戦



闘的な高速性能にさらに磨きをかけている。どこまでも吹け上がるような高速域での加速性能が、TZRライダーの新しい武器になる。

**さらなるオーバーレブ特性の達成、
上下独立式吸気システム。**

斬新なキャブレター・レイアウトの採用により、上下気筒への吸気経路をそれぞれ独立させ、最適な充填効率を獲得しているTZRの上下独立式吸気システム。'94年では新たにエアクリーナーからキャブレターへとつながるジョイント部の絞りを変更。キャブレターへの吸気をスムーズにして、12,000rpmを超えてもパワーの落ちがきわめて少ない、SPバージョン定評のオーバーレブ特性をさらに向上させている。

**オイル消費量の低減、
デューティ制御オイルポンプ。**
適切なオイル供給を一段と進化させる、ヤマハ独自のデューティ制御オートループポンプを新採用。エンジン回転数とスロットル開度の制御マップをCDIユニットに内蔵したコンピュータにより検知して、ソレノイドバルブ

の開閉を制御。エンジンが要求する最適なオイル吐出量をきめ細かくコントロールして、オイル消費量を従来より約50%低減('93TZR250R SP比)することができる。

果敢な走りをサポート、高剛性サスペンション。

高剛性によるフロント周りの安定性向上に大きく寄与する、TZR定評のφ41mm倒立フロントフォーク。フロントタイヤの接地感をつかみながら限界を確認する過程でも、きわめて安定したマシン挙動を示す。また路面追従性に優れたリアのビギーバック・リンク式モノクロスサスペンション。'94では新たにクッションのパンプストップラバーを変更し、コーナリングや加速時などの高荷重域での操縦安定性をさらに高め、さらなるタイムアップをめざした果敢な走りをより一層サポートしている。

ワークスのコントロールビリティ、

車体ポテンシャル。

エンジン同様、ワークスマシンYZRのテクノロジーが投入された軽量アルミデルタボックスフレーム。ヘッドパイプ、タンクレール部をTZと同仕様としたきわめて高い剛性は、高い運動性と幅広い対応力を生みだす。また高いねじり剛性と横剛性を持つウイングリアームは、より一層のコーナリング性能の向上とともに、ワンタッチチェーンブレイクの装着

により高いメンテナンス性を達成している。

抜群の運動性、クラスNo.1のパワーウェイトレシオ

偶力バランサーの採用により、エンジン振動を大幅に低減。振動対策のための補強材をなくすとともにカウリングの薄肉化を達成して、乾燥重量128kgを実現。パワーウェイトレシオ3.2kg/psというクラスNo.1の優れた数値を獲得している。加速、減速、S字やシケインでの切り返し、コーナーでの立ち上がりなどで、抜群の運動性を発揮。優れたCd値とともに、ウイニングランへの大きなアドバンテージといえる。



TZR250R SP仕様 限定500台 メーカー希望小売価格 ¥895,000 (北海道、沖縄および一部地域を除く)
カラーリング:ブルーイッシュホワイトカクテル

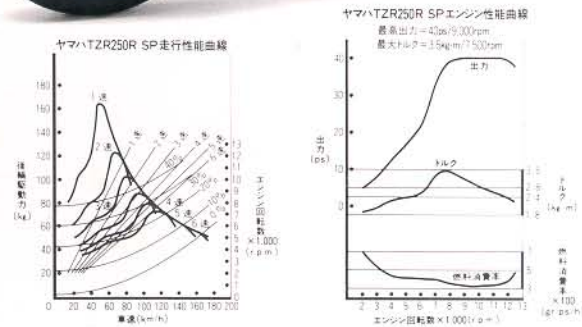
●価格は参考価格です。●価格には保険、税金(含む消費税)、登録などに伴う費用等は含まれていません。●消費税は別途計算のうえ申し受けます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。●メーカーオプションで速度警告灯装着仕様車(¥10,000高)もあります。

TZR250R SP仕様 仕様諸元

型式.....3XV
全長/全幅/全高.....1,960mm/680mm/1,075mm
軸間距離.....1,340mm
シート高/最低地上高.....780mm/135mm
乾燥重量.....128kg
燃費・定地走行テスト値.....34.0km/ℓ(50km/h)
最小回転半径.....3.1m
制動停止距離.....14.0m(50km/h)
エンジン種類.....2サイクル・水冷・クランク室リッドバルブ

気筒数配列/総排気量.....V型2気筒/249cc
内径×行程.....56.0mm×50.7mm
圧縮比.....7.5:1
最高出力.....40ps/9,000rpm
最大トルク.....3.5kg-m/7,500rpm
点火方式.....C.D.I.
始動方式.....キック式
燃料タンク容量.....15ℓ
オイルタンク容量.....1.5ℓ
潤滑方式.....分離潤滑式

1次減速機構/減速比.....ギア/2.576(67/26)
2次減速機構/減速比.....チェーン/2.642(37/14)
クラッチ形式.....乾式多板
変速機形式.....リターン式6段
変速比.....2.357/1.764/1.470/1.263/1.136/1.043
フレーム形式.....プレスバックボーン
キャスト/レール.....24"00"/90mm
タイヤサイズ 前・後.....110/70R17 54H・150/60R17 66H
制動装置 前・後.....油圧式ダブルディスク・油圧式シングルディスク
●このバイクは基本的にレース対応マシンとして開発されたものです。
●公道走行も可能です。



見る・見られる・いい運転。

●バイクは昼間もライト・オン!
●カーブ・交差点では、スローインクダウン!

Be Riding Friends!

バイクでひろがるいい仲間。

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

●ヘルメットを正しくかぶりましょう。●点検・整備を忘れずに。●安全のため改造はやめましょう。●安全速度で走りましょう。無理な追越しはやめましょう。●昼間のライト・オンはかならずロービームで。●競技用に改造した車両での公道走行はできません。●YRSで正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

**YRS オンロード
スポーツトレーニング**

国際A級ライダーやヤマハのインストラクターが、理論と実技の両面からライディングテクニックを伝授。クロスロードコースでのレーニングが、日本の走りをも大きく飛躍させます。お問い合わせ、お申し込みは、Y.E.S.S.加盟店へ。

お客様相談室

このカタログに関するお問い合わせは、お近くのヤマハ販売店または下記のお客様相談室へ。
☎0120-090-819
●フリーダイヤルにてご連絡できない場合はTEL.(0538)32-1166

1993年12月現在

●このカタログは再生紙を使用しています。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県磐田市新貝2500
9311-8D; ☎-018160